

平成30年度を振り返る



湯河原町吉浜 全壊した海の家

平成30年度は、「前年度から繰り越した」大量のごみの撤去作業からスタートしました。

これは平成30年3月9日に通過した低気圧が残したごみで、年度当初から年間の緊急清掃費全額だけでなく、海岸によっては年間の清掃費の1/4も使わざるを得



平塚市虹ヶ浜 大量のごみが漂着

ず、苦難の年度始まりとなりました。

夏は、レアなケースが続出。

7月上旬には、湘南の海岸一帯に、大量のカツオノエボシがうちあげられたことをはじめ、7月28日に通過した台風12号は、東から西へと通常とは真逆のコー

スを進み、その影響で湯河原町吉浜では海の家12軒が全壊しました。

さらに、8月5日には、鎌倉市由比ガ浜にシロナガスクジラの赤ちゃんの死骸が



鎌倉市由比ガ浜 漂着したシロナガスクジラ

打ち上げられ、その胃の中からプラスチック片が発見されたことが大きなニュースになりました。

平成30年度において海岸に最も影響があったのが、9月30日に日本列島を縦断した台風24号。

この台風の影響で、茅ヶ崎市以西の海岸に大量のごみが漂着し、300トンを超

えるごみを回収するのに11月末までかか



茅ヶ崎市ヘッドランド

りました。

12月に入ると、それまでの大量のごみに右往左往する日々から一転。安定した天候が続き、海岸にほとんどごみが漂着しない状況が2月まで続きました。

そのおかげで、平塚市虹ヶ浜海岸や小田原市山王海岸などで長年清掃できずに海岸に残さざるを得なかったごみを平成27年9月以来4年ぶりに撤去し、従来の清掃目標である「1年に1回神奈川県を清掃の必要のない状態に戻す」ことを達成できました。



神奈川県環境科学センター 難波あゆみ氏



リコージャパン株式会社 高橋英宜氏



逗子市経済観光課 楠元仁氏

平成 30 年度海岸美化団体等交流会開催しました

3月2日(土)、神奈川県藤沢土木事務所汐見台庁舎にて、平成30年度海岸美化団体等交流会が開催され、過去最高となる114団体・個人、195名の参加がありました。

交流会は講演からスタート。神奈川県環境科学センターの難波あゆみさんから「県民参加調査による相模湾漂着マイクロプラスチックの実態」と題し、今、話題のマイクロプラスチックに関

して、その定義や影響、相模湾での現状などについて最新のデータとともにお話いただきました。

次に、美化財団から長年に渡る活動やご協賛に感謝して「中高生ボランティア NEXUS」「パークサーファーズ」「茅ヶ崎市立松浪小学校」に感謝状を贈呈しました。

続いて、リコージャパン株式会社の高橋英宜さんから企業の環境活動につ

いて、そして、逗子市役所経済観光課の楠元仁さんと NPO 法人 iPledge 濱中聡史さんから SMART BEACH PROJECT について発表していただきました。

最後の懇親会は、普段接する機会がない方々に直接お会い出来たり、他団体への紹介のお願いがあったり、新たな出会いや繋がりが生まれる場となりました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

鎌倉市由比ガ浜にシロナガスクジラが漂着

8月5日、鎌倉市由比ガ浜にシロナガスクジラの赤ちゃんの死骸が打ちあがりました。

シロナガスクジラが国内の海岸に漂着したのは全国初のケースとなり、ニュースに大きく取り上げ

られました。

また、その胃の中からプラスチック片が発見されたことを受け、神奈川県は『かながわプラごみゼロ宣言』を発表しました。



相模川をさかのぼる



8月に相模川をさかのぼり、相模原市立環境情報センターへ講義と工作教室に行ってきました。

最初に、街のごみが川を通じて海まで流れていることを知っているか尋ねてみたところ、誰も知らず……。改めて、上流域での啓発の重要性を認識しました。

講義の後は、ビーチグラスや貝殻などを使った写真たてづくりを行い、海への想いがつまった作品が出来上がりました。



『『かながわプラごみゼロ宣言』in 鎌倉 ～海からSDGsを考える～』 で講演しました

11月2日、鎌倉市鎌倉生涯学習センターホールで開催された『『かながわプラごみゼロ宣言』in 鎌倉～海からSDGsを考える～』で講演してきました。

講演は「神奈川の海岸ごみの実態」と題し、海岸ごみの現状や陸域から川を通じてごみが出てくるメカニズムを写真を豊富に使用して話しました。

桜美林大学インターンシップ を受け入れました



2月28日から3月5日までの5日間、桜美林大学からインターンシップ生3名の受入れを行いました。

学生3名は、3月2日に開催した「交流会」を中心に様々な業務を体験。期間中、天候に恵まれず、肝心の清掃現場の海岸へ出かけられたのが最終日のみとなってしまいましたが、その分、しっかりとごみ拾いを行っていただきました。

環境出前授業 | 小田原市立三の丸小学校

10月25日、小田原市立三の丸小学校4年3組へ学校キャラバンに行ってきました。

日頃から総合学習の時間にビーチクリーンアップ活動を行っているので、海岸ごみへの関心が高く、授業はテンポよく活気にあふれた雰囲気が進んでいきました。

受講後もビーチクリーンアップ活動を定期的に続けていく中で、全校児童にも「自分たちの想い」

を伝えられたら考えて、クラスで「4・3環境マウルンジャー」を結成。

3月5日には体育館のステージから劇場型のプレゼン方式で全校発信されました。

学校キャラバンを俳優顔負けの演技で再現したり、環境問題をクイズ形式で出題したりするなど、発表をより伝えるように工夫して、児童や保護者の方々へ熱い想いを届けていました。



●ご協賛いただきました

中日本エクストール横浜株式会社様から、料金所スタッフの制服をリサイクルした軍手をご協賛いただきました。

●寄付金 紹介

テラサイクルジャパン様から寄付金をいただきました。

●物品協賛 紹介

・日本サニパック株式会社様からごみ袋150,000枚ご協賛いただきました。

